

Azusa Shibata

あなたは狼に対してどんな印象をお持ちだろうか？「赤ずきんちゃん」や「三匹の子豚」など、西洋の童話では、恐ろしく邪悪で、憎い獣として表現されることが多い。それは、西洋では牧畜で生計を立てている人が多く、家畜を襲う狼を古くから敵視し、悪者とい

うイメージが定着していたためだと言われている。一方、農耕が盛んな日本では、狼は農作物を荒らす動物を狩るため、外から作物を守ってくれる益獣とされ、農耕の守り神のような存在として祀られてきたという歴史がある。こうして地域や文化などによっても全く違うイメージ

を持つ狼。ここで紹介する柴田梓は、狼をモチーフにした日本画を描く作家だ。東北芸術工科大学を卒業し、現在は関東を中心に制作活動をおこなっている。彼女にとって狼とは何か、また狼を通してどんなことを表現しているのかを掘り下げてみよう。

“ 存在が持つイメージを 画面に写し、表現する ”



《シロヤマイヌ》岩絵具 水干 箔 和紙／2016年

# 獣としての 狼か、 神としての 狼か。

日本画家

## 柴田 梓